

2021年度 第2回 理事会 抄録

日時： 2021年5月16日（日） 9：30～14：30
場所： WEB会議
出席： 理事： 半田、内山、斉藤、森本
網本、大淵、小川、梶村、清宮、黒澤、佐々木、白石、大工谷、高橋（哲）、
高橋（仁）、田中、谷口、友清、中川、藤澤、松井、山根、吉井
監事： 太田、長澤、辺士名
欠席者 理事： なし
監事： なし

I. 審議事項

(全8題)

1. 2020年度事業報告および決算報告の承認について (半田会長、内山副会長、斉藤副会長、森本副会長、大工谷常務理事、高橋（哲）常務理事、 吉井常務理事、網本常務理事、梶村常務理事、黒澤常務理事、白石常務理事)	承認
<p>定款第39条にもとづき、定時総会へ提出するため、2020年度事業報告案および決算報告案が審議され、承認された。</p> <p>事業報告および決算報告の詳細は、会員限定コンテンツ>役員会抄録等に掲載の議案書参照。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・ COVID-19の影響で懸念されていた組織率の低下、会員サービスの低下に対して、向上に向けた取り組みを行った。ぜひ報告の際にこの点を伝えてほしい。・ 広報について、COVID-19の影響で理学療法の広報・啓発としての理学療法週間・55周年記念事業が計画通り進まなかったことは大きいですが、デジタル広報が推進されていくと思うので、士会がどのように行っていたかということもモデル事業があれば報告で周知することが良いと思う。今年も難しい形での開催になるので、フィードバックが必要だろう。→2021年度事業として全国一斉イベントの情報収集・共有を行った。いずれ士会の広報担当者とのプラットフォームを設けたいと考えている。・ 新卒者へのCOVID-19の対応について、もし調査内容が決まっていたら教えてほしい。→具体的には決まっていないが、次期執行体制でやっていくことを合意している段階。影響は数年間に及ぶだろうという話をしている。→教育現場の方は今年の新2年生の対応が重要で、且つ難しいと思っている。次が今の4年生で、評価実習が不十分なまま総合臨床実習に向かうこと、代替教育の効果などの課題がある。反対に新1年生は新しい環境で一から学ぶことができると思う。現場の教員と論点を整理して、どういう能力の支援が必要かの検討やもう少し踏み込んだ調査研究も必要。卒前卒後を中心とした生涯教育は協会活動の重要な課題として取り組まれているので、それをふまえて行っていく必要がある。その点も留意して引継ぎを行っていく。・ 「理学療法士業務『核』の設定委員会」の答申書が提出され、協会事業の軌道に載せていくことと思う。業務・職域・権能を含めた重要な提案をいただいているので、次期執行部で重点的に進めてほしい。業務執行理事・理事は協会の方針をしっかりと共有して総合的に進めていくことが大事だと思う。・ 運動器の健康・日本協会の調査で、障害を持っている児童が24万人いるという推計が出ており、大きな数値である。成長とともにどういう影響が出るかということは、医師と共に取り組んでいけるフィールド。	

モデル事業に取り組んだ後の事業展開のビジョンを教えてください。

→本会の方針は、愛媛・島根・京都のモデル事業について、医師を中心に運動器健診を行った後、その医師の下で理学療法士が関わることでどのような結果が出るか、データを集めているところである。

・決算報告について、今年1年間、新しい会館にできたことに対する財務のインパクトがどのようにあったか。COVID-19への対応としてテレワークなど事業・事務局運用で難しい対応が求められたと思う。臨時職員の雇用費の減少、派遣職員の雇用費の増加、通信管理費、委託料の増加など、わかりやすく会員に伝えてほしい。

→会館建設については貸借対照表の中で、その他固定資産の中の建設仮勘定から建物等に6億ほど出てきた。それに関する項目が一部正味財産計算書の方で出てくるのは管理費の中の消耗備品などが増えた。臨時職員の雇用費は事業に紐づくもので、協会の職員として事務所で働いている職員の臨時雇用賃金はほぼ発生していない。派遣職員については、職員が休職・退職した部分を派遣職員で行ったことによる。通信管理費は会員数が増えたことによる郵送料の増加が大きい。事業そのもので大きく変わったところは、対面事業がなくなったことにより賃借料・旅費交通費がなくなったことによる。

2. 代議員の算出方法の変更に関する総会質疑の対応について	(斉藤副会長)	承認
<p>前回承認された代議員の算出方法の変更について、総会で質疑が出た際の対応の仕方が審議され、承認された。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 		

3. 第50回定時総会の日程等の再承認について	(半田会長)	承認
<p>第50回定時総会の日程等について、開催時間並びに議題順序の変更について審議され、承認された。</p> <p>日程：2021年6月5日(土)11:00～17:00→10:00～16:00に変更 審議事項：第1号議案～第3号議案について以下の通り変更する。 第1号議案「定款改正案の承認を求める件」 第2号議案「2020・2021年度役員を選任を求める件」 第3号議案「名誉会員の承認を求める件」 なお、報告事項3. 定款細則（代議員定数の計算方法）報告を削除し、第1号議案の補足とする。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在のCOVID-19の状況を踏まえると、六本木会館に集まるための変更ということだが、職場に許可を求めるためにも、その理由を知りたい。 <p>→退任される方へのセレモニーを行いたいこと、代表理事を選ぶ作業の時に集まったほうがやりやすい。ご意見はもっともであり、早急に検討して理事各位にお伝えする。</p>		

4. 次期議事運営委員の推薦について	(半田会長)	承認
<p>総会議事運営規程第3条の定めるところにより、次期定時総会にて議事運営委員の立候補がなかった場合（定足数を満たさない場合）に備え、以下の者を次期議事運営委員として推薦（推薦の順位含む）することについて審議され、承認された。</p> <p>議事運営委員候補者 敬称略</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.和泉謙二（静岡県理学療法士会） 2.菅原慶勇（秋田県理学療法士会） 3.岡持利亘（埼玉県理学療法士会） 4.舟見敬成（福島県理学療法士会） 5.井上和久（埼玉県理学療法士会） <p>会長指名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小林圭介（事務局職員） <p>任期 第50回定時総会終了時から第51回定時総会終了時まで</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県士会から2名の選出がある。47都道府県がある中で、幅広く選出いただきたい。 <p>→議事運営委員については前回公募をかけた際、たまたま埼玉県より2名が当選承認された。今回も立候補がなかった場合に備え、その方々を継続的に推薦した。</p>		

5. 第50回定時総会 議長団の推薦について	(半田会長)	承認
<p>定款第15条および第18条第2項、総会議事運営規程第5条の定めるところにより、議長・副議長の立候補がなかった場合に備え、以下の者を推薦することが審議され、承認された。</p> <p>議長：森島健氏（東京） 副議長：林克郎氏（神奈川）</p> <p>※なお、以下の者は議長、副議長の指名による</p> <p>議事録署名人：四谷正嗣氏（福井）、西浦健蔵氏（福岡） 書記：吉倉孝則（事務局職員）、石田英恵（事務局職員）</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 		

6. 監事候補者の推薦について	(半田会長)	承認
<p>2021・2022年度役員改選において、監事立候補の1名欠員が生じたため、選挙規程第20条4項に基づき、業務運営に精通した監事を理事会で推薦する会員について、理事会の承認を得て総会に推薦することが審議され、承認された。</p> <p>業務運営に精通した監事候補者：櫻田 義樹 氏</p> <p>また、定款細則Ⅲ 理事及び監事に関する項4に従い、会計に精通した監事の推薦についても、理事会の承認を得て総会に推薦することが審議され、承認された。</p> <p>会計制度に精通した監事候補者：辺土名 厚 氏</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 		

7. 役員報酬等委員の推薦について	(半田会長)	承認
<p>役員報酬等規程第5条第3項に定めるところにより、以下の者を委員として、第50回定時総会に推薦することが審議され、承認された。</p> <p>委員候補： 林克郎、横川光代、信太雅洋、菊池和幸 辺土名厚（公認会計士）</p> <p>任 期： 選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時総会の終結の時まで</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員候補者は、大都市、中都市、小都市に委員が分散されているか。 →神奈川、香川、北海道、静岡となっている。 ・役員報酬等を決定するにあたり、今まで聞いてきた理由として、「他団体と比べて」という言葉がよくあった。理学療法士会員の給料があがっていない中、中央の人は会員の現状を理解していないと思われかねないので、丁寧に説明していただきたい。 ・前回まで社労士が委員に含まれていた。今回は入らないのか。 →前回までの委員であった社労士とは会館移転に伴い契約を終了した。労務管理面で新たな社労士と契約しているが、まだ本会への理解が十分ではないため、今回は推薦しなかった。 ・次回から過去の委員、被推薦者の地域、男女比の資料をいただきたい。 ・士会の役員はほぼボランティアで行っている。協会と士会の制度設計の差が大きすぎるのではないか。士会への働きかけ、制度設計など全体を考えてほしい。 ・社会保険労務士の資格を持っている会員を委員に採用するのも一つの手ではないか。 		

8. 新入会員の承認について	(半田会長、内山副会長、斉藤副会長、森本副会長)	承認
<p>2021年3月16日～2021年5月1日の間、新たに申請をした正会員743名の入会について承認された。また、復会者743名、休会者905名、退会者215名であったことが併せて報告された。</p>		

II. 報告事項

(全 15 題)

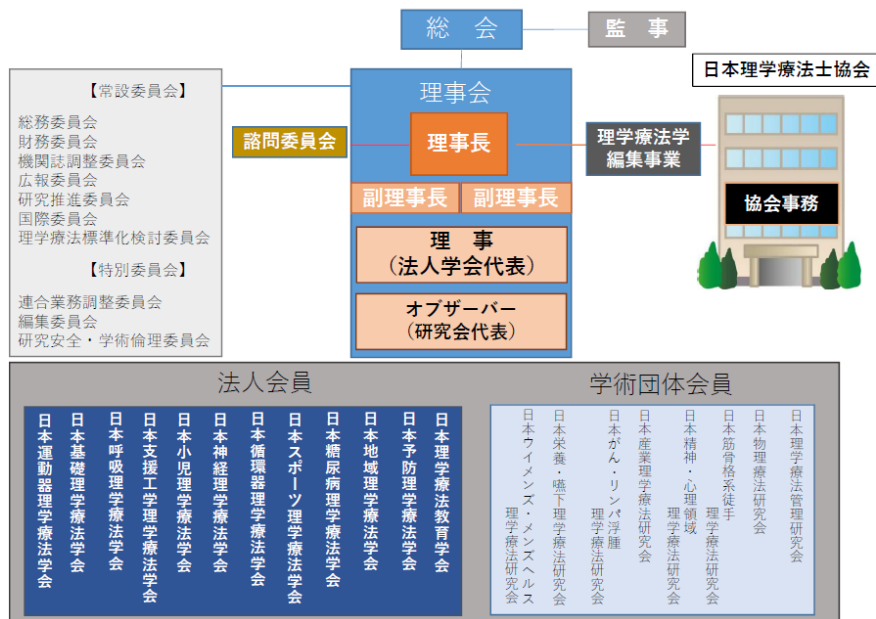
1. 2020 年度実施 協会選挙 結果報告	(江本委員長)
2020 年度実施の協会選挙について結果が報告された。	
＜役員候補者選挙＞ 理事立候補者においては立候補者が定数を越えたため、選挙投票が行われ、当選者が決定した。 投票率：92.3% 監事候補者においては、立候補者が定数だったため、実施要綱に則り、該当の立候補者を当選者と決定した。	
＜会長候補者選挙＞ 立候補者が定数だったため、実施要綱に則り、該当の立候補者を当選者と決定した。	
＜分科学会運営幹事選挙＞ 12 分科学会中 4 つの分科学会（運動器・小児・神経・地域）にて立候補者が定数を越えたため、選挙投票が行われ、投票実施学会含め、計 172 名の運営幹事が選出された。 投票率：15.9%	
2. 2020 年度期末監査報告について	(太田監事、長澤監事、辺士名監事)
2021 年 5 月 15 日に 2020 年度期末監査を行い、事業報告、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について適正であると認められたことが報告された。	
3. 世界理学療法連盟 2023 学会の企画プログラム委員会(Congress Program Committee)委員推薦について	(半田会長)
世界理学療法連盟 2023 学会の企画プログラム委員会(Congress Program Committee)委員推薦について、会員 3 名を世界理学療法連盟事務局に提出したことが報告された。	
4. 第 50 回定時総会の進行および提案・答弁について	(半田会長)
第 50 回定時総会の進行および提案・答弁について報告された。	
5. 理学療法標準評価作成委員会の事業報告について	(大工谷常務理事、大畑委員長)
理学療法標準評価作成委員会の活動報告の提出について報告された。	

6. 学会法人化の進捗状況および今後のスケジュールについて (高橋 (哲) 常務理事、藤澤理事)

学会連合の組織、定款・定款細則、今後のスケジュールなどについて報告された。

また、学会連合の理事長に就任した藤澤氏よりあいさつが述べられた。

日本理学療法学会連合 (組織全体図)



7. 常勤役員行動録について (半田会長、斉藤副会長、大工谷前専務理事)

常勤役員 of 4 months of action records were reported.

8. 事務局報告について (斉藤専務理事)

4 months of the secretariat report were made.

【主な意見】

- ・休会者の割合が増えているが理由はわかるか。
→毎年 1 ポイントずつ上昇しているので分析を行いたい。10 年以上休会をしているなど、本来の休会制度の意図と違う使い方をしている会員も見受けられる。

9. 本会が会費を納める他団体の2019年度事業報告及び収支報告等について (半田会長)

本会が会費を納めている以下の他団体について、事業報告及び収支報告等が報告された。

団体名
一般社団法人リハビリテーション教育評価機構 (JCORE)
リハビリテーション専門職団体協議会 (3 団体)
公益財団法人運動器の健康・日本協会
大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会 (JRAT)
公益財団法人 医療研修推進財団(PMET) ※養成施設教員等講習会事業協力金
認定 NPO 法人日本障害者協議会 (JD)
チーム医療推進協議会
一般社団法人日本リハビリテーション医学教育推進機構
公益財団法人 日本訪問看護財団
一般社団法人 日本医療安全調査機構
公益財団法人 国際医療技術財団(JIMTEF)
公益財団法人 公益法人協会
公益社団法人 日本脳卒中協会
全国福祉用具相談・研修機関協議会
健康日本 21 推進全国連絡協議会

10. 健康日本 21 全国推進協議会総会報告 (斉藤副会長)

健康日本 21 全国推進協議会の総会が開催されたことが報告された。

11. 第 55 回日本理学療法学会研修大会 2020 in おおいた 進捗状況について (斉藤副会長)

第 55 回日本理学療法学会研修大会 2020 in おおいたの進捗状況について報告された。

12. 2020 年度日本理学療法士教員協議会 報告書 (半田会長)

一般社団法人全国大学理学療法学会が主催する 2020 年度教員協議会について、助成結果として報告書が提出されたことが報告された。

13. 懲戒処分について

(半田会長)

懲戒規程第13条にもとづき、2020年度下半期の会員不祥事案件4件について、懲戒委員長より提出された答申書にもとづき、下記のとおり処分を通知したことが報告された。

事案名：ストーカー行為等の規制等に関する法律違反被疑、県迷惑防止条例違反（痴漢）、強制性交の疑い、暴行・傷害

14. 常任理事会 会議報告（3月6日）

(斉藤専務理事)

第11回常任理事会の報告がなされた。

協議事項：

1. 育児・介護休業法施行規則の改正に伴う規程変更について
 2. 臨時職員就業規則の変更について
 3. 正職員転換制度規程の新設について
 4. 貸金規程の変更について
 5. 日本理学療法学会連合の発足に伴う貸付金規程の変更について
 6. 電子証明書の内規の新設について
 7. 理学療法士養成校の卒業生に対する2020年度学業優秀賞受賞者の承認について
- 結果：1～7について協議された。

報告事項：

1. 世界理学療法連盟 アジア西太平洋地区(World Physiotherapy - AWP)の執行委員会役員会議報告について
 2. 第3回 アジア理学療法フォーラムのオンライン開催について
 3. 事務総合職員（正規職員）の採用について
 4. 資金繰りについて
 5. 世界理学療法連盟(World Physiotherapy)2023年学会開催時期における本会事業について
- 結果：1～5について報告された。

15. 常任理事会 会議報告（4月3日）

（斉藤専務理事）

第1回常任理事会の報告がなされた。

協議事項：

1.新たな認定理学療法士制度で活用する「認定理学療法士基準カリキュラム・シラバス集（仮称）」の制作について

結果：1について協議された。

報告事項：

1.新たな認定理学療法士制度の分野に関してについて

2.理学療法士業務「核」の設定委員会報告書の提出について

3.JRAT 第2回運営会議・第7回理事会の報告について

4.学会法人化の進捗状況および今後のスケジュールについて

5.資金繰りについて

結果：1～5について報告された。

以上